

和太鼓部「唯風(いふう)」今後の公演予定

- ・4月3日(日)和太鼓フェスタ 於 高槻現代劇場大ホール 14:00 開演
- ・3月21日(祝)和太鼓部員保護者の皆さまのための演奏会
(↑これは校内の催しです。一般公開はしていません)

「和太鼓部「唯風(いふう)」2015年度の活動報告 12月~1月

(新しい記事が上になっています)

1月24日(日)大阪府高等学校芸術文化際伝統芸能部門(通称芸文祭)



何十年に一度という寒波の中、大東市立サーティーホールで実施されました。

数日前から天気予報は「積雪による路面凍結のおそれ」や「食料の備蓄を」等の、穏やかでないお知らせばかりで、無事に到着できるか、とても心配しました。しかし、幸いなことに、現地は、風は冷たいけれど青空で、無事開催することができました。多数の学校が参加する関係上、芥川高校さんと柴島高校さんが毎年自校の太鼓を貸し出して下さるのですが、今年は万一を考えて前日に搬入して下さったとのこと、ありがとうございました。

本校は、昨年度は、インフルエンザ罹患者が校内の規定の数を超えてしまったため、涙を吞んで欠場しましたが、今年は大きく体調を崩す人もなく、参加できたこと自体がまずは幸せでした。

イベントそのものは、過去最多の出場校となり、太鼓だけでなく、落語などの伝統芸能も入り、多彩になりました。お客さまの入りも、年々増えているようです。また、太鼓については、演技演奏のレベルも、知っている限りの過去最高だったと思います。

学校によって人数も違い、目指すところも違っていますが、どの学校も工夫を凝らし、「こういう演奏をしたい」という主張がはっきりと出ていて、観客の1人としても、わくわくする1日でした。

ちなみに、本校の部員に人気があるのが、「ぶちあわせ太鼓」です。使う太鼓はたった2

台ながら、その迫力たるや、観客をトランスに引き込む力があります。伝統に培われた曲のもつ「縄文の血が騒ぐ」魅力とでも言いましょうか、和太鼓の原点を見る思いがします。

また、部員同士で相談してオリジナル曲をまとめあげ、舞台の上で、「やりたいことを存分にやっている」という喜びをはじけさせていた学校も。ここは、練習プランからすべて生徒さんの力でここまでもってきているそうで、そのこと自体が、脱帽です。他には、地域の歴史に着想を得た、顧問の先生によるオリジナル曲の演奏もありました。また、プロの方の既成の楽曲を自分たちでアレンジし、大人数にも関わらず一糸乱れぬパフォーマンスに構成した圧巻の演技を披露したチームや、通をうならせるような渋い演奏を披露してくれたチームもありました。これは来年がますます楽しみです。

さて本校は、過去最多の人数で、近藤克次先生に頂戴した「海山道」を演奏しました。昨年インフルエンザで欠場しているため、二年生もフレッシュな気持ちで臨みました。位置取りなど、まだまだなところは多いのですが、曲中の歌部分が、「こうあれかし」というねらいどおり、今年はとてもよかったと思っています。かなり熟達してきた三年生と、中堅の二年生、これから部の将来を担う一年生が、力を合わせて演奏しました。他校の演技演奏からたくさんの刺激を頂いて、これからもっともっと精進したいと思います。

最後に、寒い中この催しのために力を尽くして下さったホールのみなさま、運営の先生方、係の生徒さん、太鼓をお貸し頂いた二校に、心からお礼を申し上げます。

1月9日(土) ふれあい冬まつり

毎年恒例のゆうあいセンターに、今年も行って来ました!! 今回は、普段あまりお披露目していない「ジョイント」と「H I D E」、そして「天天尽」と「天と地」を演奏しました。「天と地」は、本来は大太鼓正面打ちのかけあいですが、スペースの関係で長胴太鼓据え置きに変更しました。

「ジョイント」は、セットの太鼓がベースリズムを刻む独特の曲ですが、ノリノリのお客様が飛び入り! というハプニングも。びっくりしましたが、心から楽しんでくださったのだなあと嬉しく、部員もにこにこ顔でした。できれば、練習を含めて一番のできました。

「H I D E」は曲と曲のつなぎに使わせて頂いていますが、部員の中でやりたい人がとても多い曲でもあります。セットにする都合上、演奏できる人数に限られるので、熾烈?なポジション争いをくりぬけなければなりません。今回、その座を射止めたのは、三年生二人でした。もうすぐ卒業の二人は、心残りなく演奏できたでしょうか。



「天天尽」は、締め太鼓のみ4パートのかけあいによる、シンプルながら、技術と呼吸を合わせることが求められる難しい曲です。特に、曲の中盤少し前にある4パートの輪唱部分は大変な難所です。そのため、今年は最少人数の4人で演奏することが多かったのですが、今回は2倍の人数にチャレンジしました。4人の時の繊細さとはまた違った、迫力のある演奏になったと思います。

ラストの「天と地」は、1年生もしっかり取り組んだ曲です。天パートと地パートのせめぎあい・融合が表現できていたら嬉しいです。

さて、この催しは、地域の高校生による手作りの文化祭です。大人の力を借りず、継続して何年も自主的に運営しているのは、とても立派だと思います。企画も盛りだくさんで、餅つきや食品バザー、各校の文化部の作品展示や即売などあって、とても楽しいですので、まだ一度も来場されていない方は、来年はぜひのぞいてみてください。アットホームな雰囲気ですてきで、出演させて頂いている側の私たちも、毎年楽しみにしています。

運営のみなさん、お世話になりました！そして、忘れ物をいち早くお知らせ頂いて、大変助かりました。この場を借りて、お礼申し上げます。

12/21 (月) 高槻支援学校



今日は、高槻支援学校のふゆまつりにお邪魔しました。

学校の建物は、生徒さん作でしょう、かわいいイラストが壁を飾っています。会場の体育館は、これもきっと生徒さんの作品の、鮮やかな夕暮れの木立の風景と、爽やかなブルーの絵がお出迎え。司会はとびきり元気のいいサンタさん。楽しくて温かい雰囲気の中で、演奏させて頂きました。生徒のみなさんも、ノリノリで聞いてくださり、こちらが幸せな気持ちになりました。なんだか今日は、とてもいい音が出せた気がします。素敵な機会をいただき、ありがとうございます。

運営にあられたPTAのみなさん、先生方、お世話になりました。お元気で、よいお年をお迎えください。